

## 施策 225 笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり

【主担当部局：教育委員会】

### 県民の皆さんとめざす姿

子どもたちの危険予測、危険回避能力を育むとともに、信頼できる学校・学級づくりを進めることで、子どもたちがいじめや暴力行為を許さない心を身につけ、安心して学校生活を送り、意欲的に学ぶことができています。

### 平成 31 年度末での到達目標

いじめや暴力行為、不登校に対して学校全体で解決に取り組む体制や、地域全体で学校内外における子どもたちの安全確保に向けた体制が整うとともに、子どもたち自身が安全への意識を高め、互いを認め合い、相手を思いやる心を身につけ、学校生活に安心を感じながら学ぶことができています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
学校生活に安心を感じている子どもたちの割合	92.3%	93.0%		93.4%		95.0%
目標項目の説明	公立小学校5年生、公立中学校2年生、県立高等学校2年生を対象とした調査における「学校で、いじめや暴力の心配がなく、安心して学習することができますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合					
29 年度目標値の考え方	学校生活の安心感は現状においても、比較的高い状況ですが、子どもたちにとって特に重要な項目であることから、さらに上昇させることをめざし、段階的に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22501 いじめや暴力のない学校づくり(教育委員会)	いじめの認知件数に対して、年度内に解消したものの割合	92.8%	94.0%		95.0%		100%
	小・中・高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数	小学校 4.4件 中学校 7.6件 高等学校 2.5件	小学校 2.5件 中学校 7.4件 高等学校 2.6件		小学校 2.2件 中学校 7.2件 高等学校 2.4件		小学校 1.6件 中学校 6.8件 高等学校 2.0件

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22502 子どもたちの安全・安心の確保（教育委員会）	児童等が交通安全マップを作製している小学校の割合		85.0%		90.0%		100%
		82.9%					
22503 不登校児童生徒への支援（教育委員会）	小・中・高等学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数		小学校 4.5人 中学校 27.9人 高等学校 14.7人		小学校 4.3人 中学校 27.4人 高等学校 14.6人		小学校 3.9人 中学校 26.2人 高等学校 14.4人
		小学校 4.6人 中学校 29.7人 高等学校 14.9人					

### 現状と課題

- ①認知したいじめが年度内に解消した割合は高まる傾向にあります。一方、暴力行為の発生件数は小学校で増加傾向にあります。いじめや暴力行為を未然に防止するためには、教職員が子どもたちの言動のわずかな変化等を察知することにより、チームで適切に対応するとともに、学校の教育相談体制の充実を図っていく必要があります。
- ②小中学校の不登校児童生徒数については、特に中学1年生で急増する傾向があります。また、高等学校の中途退学者は減少傾向にあるものの、学業不振や学校生活に適應できないこと等から中途退学に至る生徒がいます。
- ③スマートフォンの普及に伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等でのトラブルやいじめが社会問題となっています。子どもたちのインターネット利用に関わる情報モラルの向上とともに家庭との連携が課題です。
- ④子どもたちが関わる交通事故や、被害者となる犯罪が後を絶たないことから、関係機関が連携して通学路の安全確保を図るとともに、子どもたち自らが交通安全や防犯に対する危険予測・危険回避能力を身につける必要があります。

### 平成29年度の取組方向

- ①小中学校および県立学校の生徒指導担当者を対象に、「チーム学校」による組織的な指導体制構築のための研修を実施し、問題行動等の未然防止を図ります。また、県、市町、学校、保護者等の責務や役割等を明確にした総合的な視点での「三重県いじめ防止条例（仮称）」の制定に向け、準備を進めます。
- ②不登校やいじめ等の未然防止および早期発見・早期解決を図るため、スクールカウンセラーを活用した教育相談の充実や、スクールソーシャルワーカーの効果的な派遣および県立学校を拠点に地域の中学校区への巡回等による支援を行います。
- ③「みえネットスキルアップサポート」の実施と継続的な指導により、児童生徒の情報モラル等を向上させ、ネット社会を生き抜く力の育成を図ります。また、ネット検索、監視等を継続するとともに、「ネット啓発講座」を開催し、保護者への啓発を図ります。

- ④子どもたちが安全に登下校できるよう、防犯団体や関係機関等と連携し、通学路の安全対策を進めます。また、交通事故や不審者事案などから子どもたちを守るとともに、危険予測・危険回避能力を育成するため、危険予測トレーニング等を取り入れた交通安全教育や防犯教育を推進します。

## 主な事業

- ①スクールカウンセラー等活用事業【基本事業名：22501 いじめや暴力のない学校づくり】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）

予算額：(28) 247,573千円 → (29) 251,065千円

事業概要：いじめや暴力行為、不登校、貧困等の課題に対応するため、スクールカウンセラー（SC）を県内全中学校区に配置します。また、スクールソーシャルワーカー（SSW）を増員し、学校の要請に応じて派遣するとともに、県立学校7校を拠点にSSWが地域の中学校区を巡回し、SCや生徒指導特別指導員とチーム支援を行い、多様な背景による課題の解決に取り組みます。

- ②インターネット社会を生き抜く力の育成事業

【基本事業名：22501 いじめや暴力のない学校づくり】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）

予算額：(28) 2,254千円 → (29) 1,864千円

事業概要：児童生徒のスマートフォン等の利用に伴う知識や理解の向上を図るため、児童生徒の情報機器等の利用に関する知識や理解等の情報モラル教育を推進するみえネットスキルアップサポートを実施します。また、ネット上での不適切な書き込み等の検索、監視等を行うほか、県内各地で保護者を対象としたネット啓発講座を開催します。

- ③学校安全推進事業【基本事業名：22502 子どもたちの安全・安心の確保】

（第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費）

予算額：(28) 3,307千円 → (29) 3,395千円

事業概要：通学路安全対策アドバイザーおよび事故防止アドバイザーを委嘱し、通学路の安全対策を進めるとともに、児童生徒の危険予測・危険回避能力を育成するための交通安全教育、防犯教育を行います。また、教職員を対象に交通安全教室、防犯教室を開催し、指導力の向上を図ります。

- ④いじめ・不登校対策事業【基本事業名：22503 不登校児童生徒への支援】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）

予算額：(28) 3,173千円 → (29) 2,003千円

事業概要：子どもたちの豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの生き抜く力を育成する魅力ある学校づくりについて調査研究を実施します。また、組織的な指導体制構築のための研修を校種別に実施するとともに、ソーシャルスキルトレーニングや生徒の主体的な活動等により、児童生徒の社会性等を育成します。